

令和7年度 入学試験（一般 第1回）問題

国語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

○ 指示があるまで開かないこと。

令和6年11月2日(土) 9時00分 ～ 9時45分

【注意事項】

- 1 試験問題の数は25問です。
- 2 問題用紙及び解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。
解答用紙はマークシートと記述解答用紙の2枚あります。下記の記入例をみて記入してください。
- 3 解答は、指示に従いすべて解答用紙にマークしてください。問題用紙に記載しても無効です。
なお、マークシートの解答用紙には解答欄が50問までありますが、25問からはマークしても無効です。
- 4 試験問題は四-【21】以外すべて5つの選択肢があります。質問に適した選択肢を選び、その番号を解答用紙にマークしてください。2つ以上マークした場合は無効となります。
なお、試験問題の四-【21】については、記述解答用紙の問25に記入してください。

【解答用紙マークシート記入例】

フリガナ	セイ トウ ハナ コ	年	月	日	国語
氏名	聖 灯 花 子	6	11	2	

〔受験番号記入例〕

番 号									

問	解 答 欄
1	① ② ③ ④ ⑤
2	① ② ③ ④ ⑤
3	① ② ③ ④ ⑤

問	解 答 欄
11	① ② ③ ④ ⑤
12	① ② ③ ④ ⑤
13	① ② ③ ④ ⑤

マーク例

良い例	悪い例
<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※番号欄には、右づめで受験番号を記入し、該当部分の数字をマークしてください。

【記述解答用紙記入例】

受験番号
32001
氏名
聖 灯 花 子
評 定

令和七年度 入学試験（一般 第一回）問題（国語）

一次の文章を読んで、後の【1】～【6】に答えなさい。

歩道橋というのは好きでない。自動車の急増にあわてて作られた容易で姑息な施設で、作りも手軽なら構造の形も良くなく、上がってまた下りるといふ無意味な労力だけを感じる。まず利用することはない。

だが、まともに作られた立体交差は好きである。私の住むマンションの前も環状道路と放射道路の立体交差で、放射道路の方が下をもぐり抜ける形になっている。橋になっている環状道路の端に立ち止まって、放射道路を歩き来する車の流れを眺めることがよくある。停滞したり行きつまったりするはずのものが、うまくさばかれている一種の快感がある。

見下ろすだけではなく、直交する線路や車道の下の道を通り抜けながら上を見上げるのも快い。とくにゆるやかに滑らかな曲線を描いてカーブしている高架道路を、下から見上げるとき、きれいだな、と思うことがある。支柱は少ないのがしりと作られているコンクリートの構造も美しいが、上と下と方向はくいちがいがながら、それぞれに車が流れ続ける動きの**ア**が快い。とりわけ晴れた秋の日の午後、透明な光が上から降り、**a**、車は縦横に流れて、雲気陰陽相合して活動する図を見る思いだ。

ところで立体交差ではなく、平面上の交差がある。踏切である。このごろは危険防止のために、線路を上にあげたり下に地下道を掘ったりして踏切は減ってきているが、たとえば西武新宿線などはまだ踏切が数多く残っている。踏切番はいなくて、電車が近づくと自動的に棒が下りてくるが、形としては古典的な形の踏切である。

十年ほど前、西武新宿線の都立家政の駅の近くに一時住んだことがあった。息子が生まれて歩き出すまでの時期だったが、その頃息子を乳母車に乗せてよく踏切に行った。赤ん坊だった息子は、走り過ぎる電車に声を立てて笑う。動くものがうれいだけではいようだ。道路端で自動車の流れを見せてもそれほど亢奮しない。コンコンコンと予め鳴る自動警報機の音と、それに続いて電車がくるのがうれいらしい。

私も好きだった。警報機の音は興味なかったが、棒で遮られた面を少しも速度をゆるめることなく**イ**して去ってゆく電車は不思議に心にひびく。国電の駅の近くの踏切のように、幅がひろくて大勢の人と車までがイライラして待っているところではそうではないだろうが、私のよく行った西武線の踏切は滅多に人の通らないごく小さな踏切である。左右の見通しもきかない。電車は見えないところから現われ、車輪の音と線路の**b**を残して忽ち走り過ぎてゆく。すぐ近くで見上げていると、日頃見なれているはずの電車がひどく大きく迫力もって見える。

こちらは歩みを止められ、その前をごうごうと巨大なものが過ぎる。ちょっと考えると不快なはずのようだが、そうではない。走り過ぎる瞬間に、車内の人たちの姿がちらりと見える。踏切など少しも意識してはいないし、そこで見上げている私たち親子などに目を向ける者もない。それぞれに本を読んだり眠りこけたり、吊革にかまっぼんやり立っている。

乳母車に手をかけ踏切に立っている私とは、全く別の世界の急な出現と消滅だ。道を平行しているのではなく、道を遮って、私の歩みを止めて、**c**過ぎてゆく別世界の流れである。ごうごうと轟音を残して。その電車がよく知っているはずの駅のホームを出て、次の駅のホームに着く、ということを一瞬忘れる。

どこからともなく現われ、どこへともなく去ってゆく不思議な電車。

やがて自分も乗るべき電車。私の子供が大きくなってその子供の乳母車を押して歩いてゆく前を、私を乗せて走り過ぎる電車。息子はその息子が電車を見てキャッキャツとはしゃぐのを見守り、電車もちらり眺め上げるが、その中に乗っている私には気付かない。車内の私も小さな踏切などわからない。腰かけて眠りこけているか、本を読んでいるか、吊革につかまって**ウ**と、終わった生涯を思い直し、これから着くべき世界の未知の駅と町のことを考えているにちがいない。あるいはかつて息子を乗せた乳母車を押して、よく踏切に行ったことを思い出しているかもしれない。

夏の朝には線路際の柵の蔭に、ムラサキツユクサが咲いていた。秋の暮には線路端の家々の夕餉の煙が夕霞が

レールに流れていた。電車が過ぎるときには車輪からかレールからか鉄粉の微粒が散るが、通り過ぎたあと、レールは何事もなかったように、ひっそりと銀色に光って見えない駅と駅をつないでいる。

(日野啓三『踏切』)

- 【1】 空欄㉑㉒㉓に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問1～3】
- | | | | | | | |
|---|---|------|------|------|------|------|
| 1 | ㉑ | ① 設計 | ② 凶案 | ③ 構成 | ④ 展開 | ⑤ 構図 |
| 2 | ㉒ | ① 激走 | ② 疾駆 | ③ 通過 | ④ 疾走 | ⑤ 長駆 |
| 3 | ㉓ | ① 茫々 | ② 悠々 | ③ 肅々 | ④ 脈々 | ⑤ 切々 |

- 【2】 傍線部「降り」に続く(a)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問4】
- 4 ①しきり ②つり ③そそぎ ④つなぎ ⑤くだり

- 【3】 傍線部「線路の」に続く(b)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問5】
- 5 ①ゆるみ ②たわみ ③ゆがみ ④きしみ ⑤よどみ

- 【4】 傍線部「過ぎて」の前に置く(c)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問6】
- 6 ①よらず ②とらえ ③さだめ ④しらず ⑤かすめ

- 【5】 この文章の作者・日野啓三の作品として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問7】
- 7 ①『飼育』 ②『光と影』 ③『破戒』
④『あの夕陽』 ⑤『点と線』

- 【6】 波線部のように記した筆者の思いとして、ふさわしいと考えられるものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問8】
- 8 ①電車の過ぎ去った後の静寂に人生の奥深さを感じ、明日からも生きて行かねばと再認識した、という思い。
②通り過ぎた線路の周辺に様々な人生があるということ、電車も知っているかもしれない、という思い。
③過ぎ去る電車を見るたび、過去の様々な場面が浮かび、改めて人生の行く末を考えてしまう、という思い。
④電車は人や物だけでなく季節の移ろいも運んでいるのだ、と改めて気づかせてもらった、という思い。
⑤線路に沿った家々にもそれぞれの営みがあるということ、踏切に佇むたびに実感する、という思い。

二次の間【7】～【11】の二字熟語の空欄に入れる語として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【7】素□家【解答欄は問9】
①法 ②封 ③豊 ④放 ⑤呆

【8】短兵□【解答欄は問10】
①球 ②級 ③旧 ④急 ⑤休

【9】□古鳥【解答欄は問11】
①間 ②寛 ③寒 ④感 ⑤閑

【10】桃源□【解答欄は問12】
①京 ②強 ③郷 ④経 ⑤鏡

【11】大□円【解答欄は問13】
①団 ②談 ③段 ④断 ⑤弾

三次の間【12】～【16】の名前の人物や動物が登場する作品・作者名として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【12】 「ジム」【解答欄は問14】

- ① 『ジェーン・エア』(シャーロット・ブロンテ)
- ② 『戦争と平和』(レフ・トルストイ)
- ③ 『高慢と偏見』(ジェーン・オースティン)
- ④ 『賢者の贈り物』(オー・ヘンリー)
- ⑤ 『赤と黒』(スタンダール)

14

【13】 「馬締光也」【解答欄は問15】

- ① 『さまよう刃』(東野圭吾)
- ② 『告白』(湊かなえ)
- ③ 『きらきらひかる』(江國香織)
- ④ 『八日目の蟬』(角田光代)
- ⑤ 『舟を編む』(三浦しをん)

15

【14】 「パトラッシュ」【解答欄は問16】

- ① 『大きな森の小さな家』(L・I・ワイルダー)
- ② 『フランダーズの犬』(ウィーダ)
- ③ 『青い鳥』(メーテルリンク)
- ④ 『クリスマス・キャロル』(チャールズ・ディケンズ)
- ⑤ 『白鯨』(ハーマン・メルヴィル)

16

【15】 「山内桜良」【解答欄は問17】

- ① 『君の臍臓をたべたい』(住野よる)
- ② 『麻酔』(渡辺淳一)
- ③ 『夏の体温』(瀬尾まいこ)
- ④ 『神様のカルテ』(夏川草介)
- ⑤ 『チーム・バチスタの栄光』(海堂尊)

17

【16】 「ヒースクリフ」【解答欄は問18】

- ① 『メアリー・ポピンズ』(P・L・トラヴァース)
- ② 『リア王』(ウィリアム・シェイクスピア)
- ③ 『嵐が丘』(エミリー・ブロンテ)
- ④ 『ドリトル先生物語』(ヒュー・ロフティング)
- ⑤ 『宝島』(R・L・スティーヴンソン)

18

四 次の文章を読んで、後の【17】～【21】に答えなさい。

私は子どもたちを保育園というところに預けて、自分の時間を確保している。学生の頃からほぼ直接に小説を書く生活に入ってしまったので、なんとなくいつまでも学生時代の延長のような生活のなかで本を読んだり、小説を書いたりすることができないのではないかと、思いこんでいた。従って、自分が子どもを産むようになることは夢にも思っていなかったし、保育園などという場所に入出入りするようになることも考えていなかった。ところが事実は想像力をはるかに越えているものらしくて、今まで五年間、雪の日も嵐の日も毎日、保育園に通い続け、更に、これからも五年間、保育園とは別れることができそうにないのだから、我ながら、びっくりしてしまう。下の子どもがまだ一歳なので、小学校に入学するまでの残りの五年間を、保育園に通い続けなければならない、というわけである。

子どもが生まれてから保育園に預けようと心を決めるまで、かなりの迷いがあるにはあった。子どもの世話を誰かに見てもらわなければ、小説を書く時間どころか、本を読む時間を取ることもむずかしくなってしまう。当時は、私の母に赤ん坊を押しつけていたのだが、それはやはり身勝手な行為だと思わないわけにはいかない。小説を書くことも、子どもを産んだことも、母に頼まれたことではなく、私自身が選んだことなのだ。自分で選んだことなら、やはり、自分で責任を果たすべきなのだろう。が、小説を書くことと育児は、精神的にはともかく、時間的に両立させることはかなりむずかしく、そこで保育園の存在を思い出した、というシナイで、けれどもそこで、また、考えこまずにはいらなかった。

会社に勤めているのなら、これはもう立派な職業である。あるいは、学校の先生、看護婦、といろいろな仕事はあるが、どれも神聖な労働と言いつけることができる。が、私のしていることは一体何なのだろう。仕事、労働、職業と、どの言葉も合わないような気がする。小説なんて、あなたの趣味でやっていることでしょう、と言われたら、それもそうだな、という気持ちになってしまう。大学生が暇つぶしに同人雑誌を作っているのとどこが違うのか、と考えるのでしよう。そして、その程度のことしか自分はしていないのだとしたら、それを理由に子どもを保育園に預けるなど、とんでもない話だということになる。けれども、大学生の文芸部とは多少違うことをしているという自負がないわけではない。ただ、その自負を自分で役所を相手に言い表わすことができないのだ。

考え ア 末に、私は福祉事務所に行き、入園案内をもらってきた。 B タイショウ児童は、家庭内の保育に欠ける児童、と書いてある。そして、保育に欠ける度数が表になっている。五段階に分けてあって、点数の高い方から入園の許可を与えることになっている。つまり、ひとり親の家庭で、その親が八時間以上の外勤なら、最高点、両親がいて、母親が内職程度の仕事をしているのなら、たったの一点、というわけである。こんな書類を読むと、売れない小説をチビチビ書いている私は、ますます イ しまい、自分の「仕事」は内職にも及ばない遊びごとなのか、と落胆する。

今でも、私はなんとなく保育園の他のお母さんたちには自分の「職業」を知られたくない思いがあり、たぶんこうした * は一生つきまとうものなのだろう。つい最近も、ある若い女性編集者に原稿を渡してから、肩書は「作家」でよろしいですか、と聞かれ、まあ、一応、そのようなものです、としどろもどろになって答えたことがあった。すると、相手は若いからこちらの恥かしさなどおかまいなく、あら、それじゃほかにないかあるんですか、と聞き返してきた。いえ、あるわけないんです、いいんです、作家で、と私は息も絶え絶えに答えていた。

これで、子どもでも名前を聞いたことがあるような有名な「作家」になれば、自信に充ちて、わたしは小説家ですよ、と落着いた声で言うことができるようになるのだろうか。

五年前の三月に、私はいよいよ心を決めて、保育園の入園申し込みの用紙と自分の短篇集と作品が載っている雑誌、そして新聞の切り抜きをかかえて、福祉事務所に行った。新聞の切り抜きとは、丁度、その頃に芥川賞の候補作品に私の小説が入れられていたので、それを言えば、お役所の人には効果があるのではないかと、思い、いかにも貴重な証拠品のように持っていったのだ。そして私は、福祉事務所で、なんと、自分がいかに無名なれども価値高い作家であるか、と誇大広告をはじめたのである。あとにも先にも、自分の小説を自分で賞めあげたのは、

その時だけである。

保育園のおかげで中断することなく小説を書き続けていることができたのだが、その時の自分の誇大広告を思い出すと、どうにも全身、むずがゆくなるような思いがする。

(津島佑子『作家という職業』)

【17】 傍線部A Bの漢字として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問19 20】

- | | | | | | | |
|----|---|------|------|------|------|------|
| 19 | A | ① 至第 | ② 仕第 | ③ 次第 | ④ 施第 | ⑤ 始第 |
| 20 | B | ① 対象 | ② 対照 | ③ 対称 | ④ 対承 | ⑤ 対証 |

【18】 空欄アイに該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問21 22】

- | | | | | | | |
|----|---|---------|--------|--------|--------|---------|
| 21 | ア | ① そこねた | ② かさねた | ③ はぐれた | ④ くらした | ⑤ あぐねた |
| 22 | イ | ① けおされて | ② ひるんで | ③ おびえて | ④ すくんで | ⑤ こわばって |

【19】 空欄*に該当する語を、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問23】

- | | | | | | | |
|----|---|---------|---------|--------|----------|---------|
| 23 | * | ① なさけなさ | ② はずかしさ | ③ やましさ | ④ うしろめたさ | ⑤ もどかしさ |
|----|---|---------|---------|--------|----------|---------|

【20】 この文章の作者・津島佑子の作品として正しくないものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問24】

- | | | | |
|----|-------------|--------|-------------|
| 24 | ① 『葎の母』 | ② 『黙市』 | ③ 『火の山―山猿記』 |
| | ④ 『ナラ・レポート』 | ⑤ 『浮雲』 | |

【21】 筆者は波線部で、読者にどんな思いを伝えたかったのか。筆者の思いを、五十字で述べなさい。

【解答欄は別紙問25】